

17 パートナースhipで
目標を達成しよう



企業とNGOの 連携の可能性

～SDGs時代の連携とは～

経営上の優先課題と持続可能な開発目標 (SDGs) を統合させる企業は、顧客、従業員だけでなく、「ステークホルダーとの協働を強化することができる」と言われています。

SDGsの達成には、企業とNGOの連携が不可欠です。これまでは「企業がNGOに寄付し、NGOがその資金を使って活動する」といった一方通行の関係が主流でしたが、これからは「持続可能な社会づくりにおける対等なパートナー」となることでしょう。

グローバルな課題をともに解決するために、企業とNGOがどのように連携したらよいか、連携事例の経験や成果を聞いて、皆さんと模索したいと思います。

第1部

(14:10～15:10)

SDGs時代、 CSRの意義を再考する

岩原 明彦氏

株式会社デンソー
キャリア・パートナー
(元CSR推進室長)



第2部

(15:20～16:20)

企業×NGOの連携事例紹介

豊安工業株式会社 × 公益財団法人オイスカ中部日本研修センター

SDGs目標15 陸の豊かさを守ろう



磯村 巖氏

豊安工業株式会社 代表取締役社長



小杉 裕一郎氏

公益財団法人
オイスカ中部日本研修センター
所長

●日 時: **2019年1月23日(水)**

14:00～17:00

●会 場: ウィルあいち 2F 特別会議室

●定 員: 40名

●参加費: 2,000円 (学生500円)

※賛助会員Bは500円引き

●対象者

NGOとの連携を検討している
企業の社会貢献担当者及び経営者、
企業との連携を希望するNGOのスタッフ、
本テーマに関心が高い学生や一般市民

講師プロフィール

いわはら あきひこ
岩原 明彦氏

株式会社デンソー キャリア・パートナー(元CSR推進室長)

1958年岐阜県生まれ。81年日本電装株式会社(現・株式会社デンソー)入社。人事部、総務部を経て、2005年からCSR推進室長としてデンソーグループのCSR推進を担当し、中部地域におけるCSRの先進的な取り組みをリードする。現在は、2017年から愛知県経営者協会に出席し、総務・企画部長を務めている。特定非営利活動法人中部プロボノセンターの代表理事としても活躍中。

いそむら いわお
磯村 巖氏

豊安工業株式会社 代表取締役社長

愛知県知立市出身。創業はボイラー製造でもあり、平成12年三浦工業(株)に入社。ボイラーのメンテナンスや営業の経験後、平成14年に事業を継承すべく豊安工業(株)に入社。各事業部に配属後、経営企画室、取締役副社長等を経て平成30年6月に4代目社長に就任。「日々、新しい歩み」をしていくという意味を含め、創立70周年のテーマを「日新月异」とし、様々な改革に取り組み、若い社員と社会やお客様のお役に立つ、新しい企業づくりを進めている。

こすぎ ゆういちろう
小杉 裕一郎氏

公益財団法人オイスカ中部日本研修センター 所長

東京都武蔵野市出身。日本経営者団体連盟(現経団連)広報部勤務を経て、平成7年オイスカの国際協力ボランティアに参加。平成8年オイスカ中部日本研修センター配属となり、「子供の森」計画を担当、平成17年愛・地球博「地球市民村」でのオイスカ出展「土の力発見館」運営を担当。平成30年より現職。夢は中部センターを日本一の人づくりセンターにすること。家族はインドネシア人の妻と二男二女。

第3部 名刺交換会

(16:25~16:55)

まつうら ふみのり
<進行役> **松浦 史典氏**

認定NPO法人ホープ・インターナショナル
開発機構 開発オフィサー
名古屋NGOセンター理事



お申し込み方法

★受付期間

2019年1月22日(火) 17:00まで

※先着順。定員になり次第、締め切らせて頂きます。

★webサイトの場合

名古屋NGOセンターwebサイト上のフォームに記入の上、送信してください。

★メール・電話・FAXの場合

①お名前(ふりがな)、②ご所属(会社名・団体名・学校名等)、③電話番号、④Eメールアドレス、⑤参加動機、を明記の上、名古屋NGOセンターまでご連絡ください。

認定NPO法人 名古屋NGOセンター

このシンポジウムは、連合愛のカンパ、(一財)日本国際協力システムより助成を頂いて実施します。

ほうあん 豊安工業株式会社

昭和22年創業、70周年を迎えました。プラント設備(ボイラー、コンプレッサー、ポンプなど)の設計や設置からのメンテナンスまで、お客様の工場の心臓部を守る企業として「日本のモノづくり」を支えています。

創業者より脈々と受け継がれる「社会貢献への志」を継承しており、特に「未来の子供達に美しい地球を残す」との思いから、国内外の植林活動に取り組み、国内では富士山の植林活動や海岸林再生事業に参加。海外では2012年よりNGOオイスカタイとの協働事業の「豊安の森ふるさとづくり」、また現地の環境リーダーを育成する「育英基金7か年計画」と合わせて推進しています。

公益財団法人オイスカ中部日本研修センター

昭和42年(1967年)、海外研修生を受け入れる国内最初の研修センターとして岡崎市で開設しました。農業研修を中心に「公に尽くす人材の育成」を目的とし、これまで8か国1,357名(1967年~2017年累計)の研修生・技能実習生を受け入れてきました。海外植林ツアー、英語キャンプ、講演会、国際交流など年間を通じて地域に根差した事業を展開しています。

名古屋NGOセンターは、情報サイト「NGOと企業の連携促進プラットフォーム」を開設しました。NGOと企業の連携事例の紹介、勉強会・シンポジウムの案内、報告書の掲載など、様々な情報を提供していきます。どうぞご活用下さい。

サイトアドレス→<http://nangoc.org/plt/>

名古屋NGOセンターでは中部地域のNGOと企業の連携促進のための冊子を作成しました。シンポジウム当日、参加者の皆様に配布します。お楽しみに。



●会場

ウィルあいち 2F 特別会議室

愛知県名古屋市東区上堅杉町1
TEL 052-962-2511

- 地下鉄「市役所」駅
2番出口より東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅
南へ徒歩約8分

住所:〒460-0004 名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCAビル7F
TEL&FAX:052-228-8109 (TEL受付対応時間: 火~土曜 13~17時)
E-mail:info@nangoc.org URL: <http://www.nangoc.org>